



校長室だより

探し、見つけ、創り出した充実の2学期



新型コロナの感染がようやく収まりつつある中、新たにオミクロン株感染拡大の兆しも見られ、感染状況に一喜一憂しながら過ごした2学期でしたが、大きな事故や休校措置等もなく本日終業式を迎えることができました。この約4ヶ月間の学校生活の様々な場面で生徒達は大きな成長を見せてくれました。本日の終業式では、2学期を振り返って次のような話しをさせていただきました。

2学期、心に残った3つのエピソード

全校の皆さん、今日で2学期が終わります。新型コロナ感染拡大が収まりつつあった今学期は、色々な意味で忘れられない学期になったのではないのでしょうか。まずは2学期中込中学校で大きな事故やコロナの感染拡大がなく、今日の終業式を無事迎えられたことに「ほっ」としています。さて、2学期を振り返ってみると、今年のキーワード「わくわく」と「めりはり」、そして「コロナでもできた」と「コロナだからできた」へ発想を転換し、みんなで困難や制約を乗り越える中で、昨年度より更に大きく成長した学期になったと思います。この様な視点で2学期約4ヶ月間を振り返った時、特に心に残ったことを3つ話したいと思います。

まず1つ目は9月の「秋桜祭」です。2年ぶりに復活した「音楽会」、2日間に渡って行った「フリーステージ」をはじめ、今年の文化祭テーマ「共震～be ambitious～」を心に留めながら、大変中身の濃い2日間になったことを実感しました。台風が近づく中全校で打ち上げた39個の「Hope Balloons」は、中込中の活動を広く県内に発信する今年ならではの企画になりました。コロナ第5波の影響もあり、準備日程が大変厳しいなかで、各クラスでバルーンを作ったり、ムービーの撮影や、合唱練習をしたりしながら準備を進めた時間は、コロナ2年目の今年でなければ経験することのない貴重な成長の時間になりました。



2つ目は各学年の校外学習行事です。2学期は3年生が11月に「白馬と黒部ダム」への修学旅行を実施し、今年度は全学年共に1泊2日の宿泊行事を行うことができました。



【奇跡的に雨があがった黒部湖での遊覧船体験】

県内では宿泊行事が日帰り行事に変更されたり、中止を余儀なくされたりする学校もあった中で、「コロナでもできること」を合い言葉に、各学年工夫して宿泊行事が実施できたことを大変嬉しく思います。更に個人的なことを言うと、私自身は昨年度に続き、これら全ての宿泊行事に参加することができ、特に修学旅行は時期を11月に延期したことで参加することができました。そして、1泊2日の時間のなかで、3年生の素敵な姿に改めて沢山触れることができました。旅行中の3年生の話しを聴く姿勢や集会中に自然と湧き上がる拍手の姿に「笑顔」と「承認」を基本とした温かい3学年文化を感じました。

＜裏面に続く＞

最後3つ目です。それは、先週行われた「第2回学友会総会」です。約2時間20分という長丁場になりましたが、今年度の学友会を締めくくるにふさわしい、充実した時間になりました。私が特に心に残ったのは、後半行われた体育委員会の体育館使用日に関する議論です。2年生の小出君から「1年生が週1回しか体育館使用日がないのは、SDGsの校正・公平という視点に反すると思うので2～3年生と同じになるように変更した方がよいと思う」という意見が出されました。それに対して当事者の1年生から「このままでよいと思う」という意見や「1年生の時の使用回数は少ないけれど、1～3年までの3年間トータルで考えれば公平になるから変えなくてもよいのではないか」という意見等が出され、話し合いが深まっていきました。また、小出君からは「3週間単位で使うように使用回数を変えればよいのではないか」という提案もされ、最後は体育委員長から「3学期に提案を試してみながら、更によりよくなるよう考えていきたいと思えます」という形で話し合いが終わりました。この意見は、丁度1年前小出君が1年生の時にも発言し話し合われた内容で、自分達1年生の利益にはならないけれど、これから入学する後輩の為に提案された意見でしたが、今年度は更に、今年度学友会で取り組んできたSDGsの考えを根拠としながら、また具体的な「使用日の割り振り案」も提案され、昨年度より、一層説得力のある発言となっていました。今回の話し合いは「Aという考え方」と「Bという考え方」について議論をし、その結果「より良くなりそうなC」という結論を導きだしたことに大きな価値を感じました。「笑顔があふれ、学びと活動がある学校」という中込中学校の学校目標に近づくために、「利己」だけでなく「利他」の精神を併せ持ちながら討議をすることができた、充実した議論になったと思います。



【SDGsの視点からも考えて発言した体育館使用日の提案】

2学期始業式で私は2学期の目標を次のよう話しました。『「コロナだからできた」「コロナでもできた」と言えることを探し、見つけ、そして創り出しながら成長していく実りの2学期にしましょう』でした。今改めて2学期を振り返った時、「コロナだからできた」を合い言葉にしなが、この目標に近づくことができた成長の学期になったと思えます。さて、明日から楽しみな冬休みです。今年の冬休みは明日12月25日のクリスマスからスタートするわくわくする休みですが、冬休みが終わると、3年生にとって人生最初の大きな壁とも言える「高校入試」が控えています。また、1年生は中学校での「先輩」になる準備を、2年生は中込中を引き継いでいく大黒柱となる大事な引き継ぎの3学期です。コロナオミクロン株の感染予防を意識しながら、この冬休みにしっかりとエネルギーを蓄え、家の方や地域の方々と仲良く、安全に楽しく過ごしてください。そして新年1月6日(木)には、また、元気に集まりましょう。

以上で2学期終業式の話が終わります。

夏から秋へとコロナ感染が収まりつつある中、自分達に今できることは何かを考え模索しながら歩んだ2学期でした。8～9月の秋桜祭、9～11月の部活動新人戦、11月の修学旅行、そして11～12月の学友会引き継ぎと学校や全校生徒にとって重要な活動を積み重ねていく中で、各学年そして一人一人が着実に成長した学期になりました。コロナ禍を嘆くだけではなく、コロナ禍だからこそ成長できたことが沢山あった2学期です。特に学友会で取り組んできたSDGsの活動は本校にとって大きな成長の1歩となり、地域へも発信することができました。保護者の皆様には、今年1年陰に日向に沢山のご支援・ご協力をいただき本当に大変感謝しております。ありがとうございました。今後もよろしく願い致します。そして、一足早いですがよいお年をお迎え下さい。(文責：大西孝一)

佐久市立中込中学校
*ご意見、ご要望、お問い合わせ
などは、下記までお寄せ下さい。
TEL 0267-62-0725
Fax 0267-62-2876